

意を決して飛び込んだ  
「生産者」の世界。



中田地区の畑を中心にみかんづくりに奮闘中。農薬の散布をしている最中。

津久見に根付く「農」で  
新たな価値を。



少し顔を上げれば眼下に広がる絶景。畑の広さは、なんと約2,000㎡。

もうすぐ初めてのみかんの季節がやってきます。引き続き皆さんの応援をどうぞよろしくお願い致します。

います。

見据えて、お試し就農やお試し居住など、新しい事業に向けて活動しています。

にチャレンジしています。

その他にも、新たな生産者確保を

見据えて、お試し就農やお試し居住

など、新しい事業に向けて活動して

います。

## 兵

庫県神戸市から津久見市に移住した梅原さん。大学卒業後、すぐに地域おこし協力隊に着任しました。

津久見市には旅行で訪れたことがあるくらいで、特にゆかりはありませんでした。以前から農業、特にミカン栽培に関心を抱いていた中で、大阪で開催された大分県就農フェアと移住フェアがきっかけとなり、協力隊への就任を決意しました。

農業の経験は全くありませんでしたが、津久見市の若手生産者から技術や手法を習いながらみかんづくりにチャレンジしています。

その他にも、新たな生産者確保を見据えて、お試し就農やお試し居住など、新しい事業に向けて活動しています。

もうすぐ初めてのみかんの季節がやってきます。引き続き皆さんの応援をどうぞよろしくお願い致します。

地域おこし協力隊の足あと  
〜協力隊リレーコラム〜  
特集号

## 初

めて見る景色を臨む畑。千怒は広浦の高台にある畑から眺める景色は、津久見市民にもあまり知られていないのでは？

日中は潮風が吹き、陽がかけると山からの吹きおろしが。そんな自然の面白さを実感できる場で、今村さんは綿花とハーブを育てています。元々ハーブ園で働いていたこともあり、「農」のある暮らしをイメージして津久見市の協力隊として着任しました。目標は、種から育てたコットンを素材に、みかんなどで染めた「つくみ色」の製品を身に着けること。

その他にも、台風災害で被害を受けたみかん農家さんの応援や、加工品づくり等々、津久見に新しい流れを生み出してきました。そんな活動やこれまでの人脈を種に、定住に向けて活動しています。

### 津久見市地域おこし協力隊

うめはら たつや  
**梅原 辰哉さん**

#### profile

1997年生まれ、兵庫県出身。レストランを営む父の影響で、食材を育む生産者に興味を持つ。今年3月に津久見市へ1ターン。



絵を描くことが得意な梅原さん。8月に開催されたつくみんウォーターパークでは、イベントをイメージしたライブペイントを実施。



「山川みかん」が有名な福岡県みやま市へ視察に。リアルなみかんオブジェがお出迎え。持続可能な農業を目指した取り組みを学びました。



津久見市内のハウス園地にて、収穫や摘果作業のお手伝いもしています。

### 津久見市地域おこし協力隊

いまむら ゆみ  
**今村 祐美さん**

#### profile

大阪府出身。協力隊着任の直前は東京都に居住。東京で開催された移住フェアがきっかけで津久見市へ1ターン。現在活動3年目。



採れたての綿(コットン)。ここから綿織り、紡ぎなど色々な工程を経て綿糸になります。現在は色付きの綿も栽培しています。



今後プレミアム化!?旬のみかんを使い少量生産する、今村さんこだわりの「つくみのみかんだけジュース」。絶品です!



千怒の広浦地区にお借りしている畑からの眺め。市民球場が見下ろせ、土日は爽やかな球児の音が。

問合せ先  
津久見市  
商工観光・定住推進課  
電話 0972-82-2655  
FAX 0972-82-9520

「地域おこし協力隊」  
Facebook  
ページ